



令和元年 9月 6日
第 441 号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

人が生きていく上で大切にしたいこと？

校長 高橋 祐二

蝉の大合唱から、秋の虫たちの声に変わり、季節の移り変わりを感じる今日この頃です。夏休み、子どもたちの事故や怪我等もなく、元気に2学期の始業式を迎えられたことを嬉しく思っています。2学期は、一年の中で一番いろいろな教育活動が予定されています。保護者や地域の皆様におかれましては、相変わらずご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、私ごとですが、年齢がかさむにつれて楽しみなことがあります。その楽しみとは、お盆や正月の時期になると幼なじみの仲間と酒を酌み交わし、旧交を温め合うことです。今年も、お盆に仲間が帰省し、数名で顔を合わせることとなりました。体型が一回りも二回りも大きくなった奴、あのふさふさ髪はどこへ行ったのやらという奴・・・みんな、それぞれ多少？容姿は変容したものの、中身は全く変わっていませんでした。杯を酌み交わすごと昔話に花が咲き、いつしか少年時代にタイムスリップしていました。

人は、生まれ故郷を離れても、親や仲間を想い、そして故郷を愛する気持ちは、いつの時代であっても**不変なのかもしれません**。保護者や地域の皆様の中にも、旧友と再会したり実家に帰省したりして、心のエネルギーを充電された方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

そんな仲間と語り合う中で、T男から、こんな話を聞かされました。T男には、高校3年生になる一人娘がいます。その娘さん（Sさん）を、とても心配しているというのです。Sさんは、競技カルタで全国大会に出場するほどの腕前で、将来、医者になりたいと医学部の受験を考えているそうです。しかし、親からすると、医学部への受験のことより、もっと心配なことがありました。それは、**特定の仲のよい友達がないことです**。学校でLINEをするような仲間？は数名いるようですが、どこかへ出かけたりとか双方の家に行ったり来たりという友達はいないそうです。また、顔は知らないけど、SNSでつながっている人がいることも心配していました。携帯電話が普及するまでは、友達に連絡をとるには、家の電話か直接、相手の家に出向くかでした。ですから、親は我が子が、誰とつきあっていて、どんな間柄であるか一目瞭然であったわけです。自分が、いくつになってもわかりあえる仲間がいる一方で、娘は、将来、人とうまく関係性を築き理解しあえる仲間ができるか、とても心配していました。ですから、Sさんには、もっとも人とつながり、人とかかわっていける「**社会性**」を身につけて欲しいと願っていました。

親からすれば、確かな学力を身につけて欲しいという願いは言うまでもありません。しかし、それ以上に**人との良好な人間関係を築く「社会性」は、生きていく上で重要と捉えているのではないのでしょうか？**

学校教育では、集団の中で知育、徳育、体育のバランスのとれた「生きる力」を養うことが目的です。その中でも、**人と人とのかかわりを通し、豊かな人間関係を築いていく力を身につけることが大切な学習です**。

2学期は、親善陸上大会（6年生）、音楽交歓会（5年生）、つばさ遠足（1～4年生）、ふれあい文化祭、マラソン大会、東豊祭り等、様々な行事があります。子どもたちは、日々の授業や行事を通し、仲間と切磋琢磨していくことで成長していくものと思います。学校のみならず、**地域行事などにも積極的に参加し、いろいろな人と交流し「社会性」を身につけて欲しいと願っています**。人とのかかわりの中では、時には、人の心を傷つけたり傷つけられたりすることもあるかもしれません。しかし、これも、**人が成長していく上での一過程と捉え、大人が見守り、教諭していくことが大切ではないのでしょうか？**

2学期も、「**人が人を愛し人を大切にする学校、人が人から愛され人から大切にされる学校**」を目指し、人と人との「**つながり**」を大切にしたい学校づくりに取り組んでいきます。

人と人との「**つながり**」の基本は、あいさつです。今朝も、元気のよいあいさつを子どもたちと交わし、気持ちのよい一日を迎えました。Nさんに、「夏休み終わって大きくなったね！」と声をかけると、Nさんがニヤッと一言。「校長先生も、大きくなりましたね！」思わず、「はあ！」と声を漏らしてしまいました。